

INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2016 @SuperDeluxe vol.2

伊東豊雄、野老朝雄ら6名によるトーク&プレゼンテーション

『Carpe diem = 今を摘め』

日時：7月15日（金）19:00開演（18:30開場）／会場：スーパー・デラックス（東京・西麻布）

アート、デザイン、建築、科学、文学、食、音楽など多彩な分野で活躍する専門家が、ジャンルの垣根を超えて多角的な視点から、「文化をデザイン」することを目的に活動している、一般社団法人日本文化デザインフォーラム（理事長：水野誠一、以下 JIDF）は、「INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2016」の第2弾として、各界のオピニオンリーダー6名によるエキサイティングなトーク&プレゼンテーション（T&P）を繰り広げるトークライブ『carpe diem = 今を摘め』を、7月15日（金）にスーパー・デラックス（東京都港区西麻布）で開催します。



T&P『carpe diem = 今を摘め』登壇者

左から、伊東豊雄、木内みどり、野老朝雄、パマ・ギャルポ、松元ヒロ、山田真美

■伊東豊雄や野老朝雄など6名が、自身の“今”を熱く語る

トーク&プレゼンテーション『carpe diem = 今を摘め』では、建築界のノーベル賞ともいわれるプリツカー賞など多数の受賞歴を持つ建築家・伊東豊雄や、今話題のデザイナー・野老朝雄をはじめ、女優の木内みどり、政治学博士のパマ・ギャルポ、コメディアン松元ヒロ、作家の山田真美といった各界のスペシャリスト6名が登壇します。

「carpe diem」とは、古代ローマの詩人・ホラティウスの詩の中に登場する言葉で、「その日を摘め」と訳されますが、これを現代的に「今を生きる」と解釈。登壇者の方々には、それぞれの“今”を熱く語っていただきます。1人15分という限られた時間の中での白熱したスピーチは、必聴です。

■軽食ビュッフェ&ドリンクバー付き、入場料は前売り3,000円

INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2016 @SuperDeluxe vol.2『carpe diem = 今を摘め』の入場料は、前売り3,000円（当日は3,500円）で、どなたでもご参加いただけます。会場内では、軽食ビュッフェ&ドリンクバー（アルコール類含む）も用意しています。また、トーク&プレゼンテーション終了後は、「ザッツ談パーティー」と称した登壇者等との語らいの場も設けます。

JIDFでは、2013年より「INTER-DESIGN FORUM TOKYO」を毎年開催。「挑発するデザイン」（2014年）、「江戸と、江戸時代から読む未来」（2015年）など毎回異なるテーマで、JIDF会員をはじめ各分野におけるプロフェッショナル達のメッセージを発信してまいりました。

今年は、これまでとは趣向を変え、とりわけ“伝える力”に着目し、プレゼンテーションを軸としたトークライブを展開。4月のvol.1、今回のvol.2に続き、11月にはvol.3の開催を予定しています。

【ご参考】vol.1の様子
(4/15実施)

【本件に関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

「インターデザインフォーラム東京」PR事務局（株式会社ジェーワン） 担当：鳥塚、久保
TEL.03-3584-4981 / FAX.03-3584-5230 / メール idft@jone.jp

【紙・誌面、WEBサイトにご掲載いただく際の一般の皆様からのお問い合わせ先】

JIDF事務局 TEL.03-6441-0762（平日10:00～18:00）

INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2016 @SuperDelux vol.2

トーク&プレゼンテーション『carpe diem = 今を摘め』開催概要



- 日 時： 7月15日(金) 19:00 開演 (18:30 開場)
- 会 場： スーパー・デラックス (東京都港区西麻布 3-1-25 B1F)
- 入場料： 前売り 3,000 円 / 当日 3,500 円 (軽食buffet & ドリンクバー込み)
※前売りは、7月14日(金) 17:00 まで、JIDF ホームページ (<http://www.jidf.net/>) にて受付
- 主 催： 一般社団法人日本文化デザインフォーラム (JIDF)
- 協 賛： 株式会社博報堂 / 株式会社 AOI Pro. / 株式会社丹青社 / 大日本印刷株式会社 / 株式会社テー・オー・ダブリュー / 株式会社ティー・ワイ・オー / 株式会社東北新社 / 凸版印刷株式会社 / 株式会社乃村工藝社 / 株式会社ムラヤマ
- 登壇者 (予定) ※50 音順
伊東豊雄 (建築家)
木内みどり (女優)
野老朝雄 (デザイナー)
ペマ・ギャルポ (桐蔭横浜大学大学院教授・政治学博士)
松元ヒロ (コメディアン)
山田真美 (作家・明治学院大学特命教授)

【登壇者プロフィール】

◇伊東豊雄 (いとうとよお)



1941 年生まれ。主な作品に「せんだいメディアテーク」、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」など。ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞、プリツカー建築賞など受賞。2011 年に私塾「伊東建築塾」を設立。児童対象の建築スクールや地方の島のまちづくりなど、これからのまちや建築を考える場として様々な活動を行っている。

◇木内みどり (きうちみどり)



16 歳で劇団四季へ。初主演ドラマ「日本の幸福」(’67/NTV) が芸術祭奨励賞受賞。「安ペエの海」(’69/TBS)、「看護婦日記」(’83/TBS)、「いちばん星」(’77/NHK)。映画は、三島由紀夫原作『潮騒』、カンヌ国際映画祭グランプリ受賞作『死の刺』(’90/小栗康平監督)、『大病人』(’93/伊丹十三監督) 映画・テレビ・舞台に数多く出演幅広く演じている。

◇野老朝雄 (のらあさお)



幼少時より建築を学び、江頭慎に師事。2001 年 9 月 11 日より、「繋げる事」をテーマに紋様の制作を始め、美術、建築、デザインの境界領域で活動を続ける。単純な幾何学原理に基づいて定規やコンパスで再現可能な紋と紋様の制作や、同様の原理を応用した立体物の設計 / 制作も行っている。

◇ペマ・ギャルポ（ペま・ぎやるぽ）



1953年チベットのニヤロン（現在の中国四川省）生まれ。59年ダライ・ラマ法王に従いインドに亡命、難民キャンプで少年期を過ごす。65年来日。亜細亜大学法学部卒業。80年ダライ・ラマ法王アジア・太平洋地区担当初代代表などを経て、現在岐阜女子大学名誉教授、拓殖大学海外事情研究所客員教授、桐蔭横浜大学・大学院教授、ブータン王国政府首相特別顧問などを務める。最近の著書に「最終目標は天皇の処刑－中国「日本解放工作」の恐るべき全貌」（飛鳥新社）、「ワンチュク国王から教わったこと」（PHP 研究所）、「日本の危機！中国の危うさ！！－日本とインドの強い絆と可能性」（あ・うん）等がある。

◇松元ヒロ（まつもとひろ）



1952年、鹿児島生まれのお笑い芸人。ザ・ニューズペーパーという政治風刺集団の結成に参加。その後独立してスタンダップコメディアンに。現在はテレビに出られない芸人として、全国でライブ活動を展開。「週刊金曜日」に「写日記」（エッセイ）を隔週で掲載中。

◇山田真美（やまだまみ）



作家、博士（人文科学）、明治学院大学特命教授、インド工科大学客員助教授。これまで3か国5大学で経済学・海洋学・インド哲学・密教学・人文科学を研究したが、知的好奇心に導かれての人生の旅は続く。次のテーマは空海。近著『運が99%戦略は1% インド人の超発想法』

日本文化デザインフォーラムについて

日本文化デザインフォーラム（Japan Inter-Design Forum /JIDF）は、アート、デザイン、建築、科学、哲学、文学、評論、伝統芸能、都市計画、写真、食、音楽、映像など、多彩な分野の先端的な活動をしている専門家約120名が自発的に集まった任意の団体です。それぞれの専門ジャンルの垣根を超えて会員相互で交流・啓発しあうことで、これまでにない発想を生み出し、多角的な視点から日本及び世界の「文化をデザイン」することを目的に活動しています。

1980年の設立（旧組織名称：日本文化デザイン会議/～1989年）以来、国内の主要都市で30回を超えるフォーラムを開催してきました。2011年8月からは「一般社団法人日本文化デザインフォーラム」として新たにスタート。本フォーラムの発起人である建築家・黒川紀章の七回忌にあたる2013年より、「INTER-DESIGN FORUM TOKYO」を毎年開催し、デザイン、建築、アートなど、さまざまな分野を牽引するプロフェッショナル達のメッセージを発信し続けています。